

## 要 旨

### The Impact of the Drama Method on Learning English in Japan : How Does Drama Experience Influence Learners' FL Anxiety?

江上 萌

外国語学習において、不安を抱える学生は多い。外国語不安の研究によると、不安の大部分は他者とのコミュニケーションからくるものであると報告されている。また、不安を減少させることが学習者にとって好ましいとされる。しかし、不安を減少させる具体的な方法を示す研究は少なく、どのように対処すればいいかは未だ明らかにされていない。

そこで本研究では不安を減らす方法としてドラマメソッドに注目した。ドラマメソッドはコミュニケーションの練習を必須とし、その体験を通して学習者が不安に打ち勝つことが期待できるからである。この論文の研究課題は以下の2つである。(I) 日本の学生はどのような外国語不安を持っているのか。(II) ドラマは学習者の不安に影響を与えるのか。

英語演劇の授業を履修する日本の女子大学4年生39名と履修していない女子大学1年生141名を対象に質問紙調査を行った。質問紙は外国語不安を測る Foreign Language Classroom Anxiety Scale (FLCAS) を使用し、彼女らの不安の要因を調査した。また、ドラマの授業を履修する学生には公演前と公演後に質問紙調査を行い、不安のレベルがどのように変化するかを調べた。

分析の結果、研究課題 (I) に対して、以下のことが明らかになった。(1) 外国語不安には、英語を話す不安、英語の授業に対する不安、英語の授業で英語を話す自信の不足、ネイティブ・スピーカーと話す自信の4要因がある。(2) 特に、日本の学生は英語を話すことに不安を感じ、英語を話す自信をあまり持っていない。(3) ネイティブ・スピーカーと話す場面では英語の学習に興味があるものであっても不安を感じる。(4) 1年生から4年生にかけて外国語学習における不安に大きな変動はない。

研究課題 (II) については次のことが明らかになった。(5) ドラマメソッドは英語

を話す不安を減少させる効果があり、外国語不安に影響を与え得ると言える。(6) 英語の授業に対する不安とネイティブ・スピーカーと話す自信の要因に関しては影響を与えない。(7) ドラマメソッドは3つのストラテジー（反復練習、仲間との協働学習、多様な表現練習）を使って学習させるため、英語学習者に学習することの楽しさを経験させる。その経験が英語学習へのモチベーションを高め、不安を減少させるのだと考えられる。

以上のことから、ドラマメソッドは外国語不安を減少させる有効な方法であることが明らかになった。